



未来・行動・百万馬力 茂木敏充国会通信

2003年
新春号

人の中へ、それが私の出発点です。あなたが私の出発点です。

■ホームページ:<http://www.motegi.gr.jp>
■E-mail:toshimitsu @motegi.gr.jp

■発行所/自由民主党栃木県第5選挙区支部
〒326-0053 栃木県足利市伊勢町4丁 目14-6 TEL0284-43-3050 FAX0284-43-3060



復興がはじまったアフガニスタンを訪問
(パキスタンからアフガンへの帰還民受け入れキャンプ前にて。屋外の気温は40℃)

2003年の新春 を迎えて

外務副大臣 衆議院議員 茂木敏充

新年明けましておめでとうございます。
昨年中は地元の皆様に大変お世話になり、またご指導を頂き心より御礼申し上げます。また、日頃より私の政治活動に対し、温かいご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年は私にとって国会議員活動10年目という節目の年であり、加えて外務副大臣という大役に就任することにもなりました。就任早々、10月からの臨時国会では日朝国交正常化交渉、イラク問題などにつき国会答弁に追われる毎日でした。

力強い日本外交へ

国会審議の合間を縫って10月末にはワシントン出張、メキシコ・ロスカボスでのAPEC閣僚会議、さらに11月25日から30日にかけては総理の特使としてイラク周辺国であるヨルダン、シリア、トルコの歴訪など、忙しい外交日程も重なりました。

就任から3ヶ月が過ぎようとしています、この間に

も米パウエル国務長官、中国唐家璇外相はじめ、各国の要人と会談を重ねてきました。また、総理特使として訪問したヨルダンでは、ラーギブ首相、シリアではバッシャール大統領、トルコではヤクシュ外相など要人と面談し、イラクをはじめとする中東情勢や日本と中東諸国との関係につき、意見交換を行なって参りました。それぞれの会談の成果はもちろん、個人的にもAPEC閣僚会議への出席や総理特使としての外国訪問など貴重な経験を積むことが出来ました。

外務省に入って強く感じることは、一連の不祥事等を重く受け止め、内部改革を早急に進めなければならないということです。私は副大臣として常々「国民の支持がなければ強い外交は展開出来ない」ということを省内各層に繰り返し伝えていきます。また、この関連で新しい外務省に変身していくための「外務省改革案」を独自に取りまとめ年末に発表させて頂きました。

(P2 へつづく)

(前ページより)

贈与税の減税が実現

外交課題の解決と同時に、長引く不況への思い切った対策の実施はもう一つの緊急課題であります。昨年末の税制改正(P3参照)では、減税措置として相続税と贈与税の一体化、生前贈与に2500万円という大きな非課税枠を創設することが決定しました。また、研究開発費総額の10-12%を法人税額から差し引く研究開発減税の創設、IT投資減税、さらに株式譲渡益課税の引き下げと特例措置の導入(今年1月から5年間は保有期間に関わらず10%の軽減税率の適用)等の項目も実現します。一方、不良債権処理、企業の過剰債務の関連でも、産業再生機構の創設や企業の壁を超えた事業再構築、産業再編等を可能とする産業活力再生特別措置法の抜本強化等が今まさに進められています。

これらの税制改正や産業再生措置の大半は、私がすでに昨年3月出版した「日本経済 再生への最終回答」で提言している項目です。今でも『To Little, To Late』(少な過ぎる、遅過ぎる)という感は否めませんが、一

歩前進したのも確かです。今年はこれらの措置を一層進めていくことが景気回復の視点からも重要だと考えております。

力を束ねて問題解決へ

昨年1年を振り返ると、株価が20年前の水準を下回るなど長引く景気の低迷に加え、国際的なテロ事件も相次ぐ多難な1年でした。一方で日韓共催のワールドカップサッカーの開催、そして年末にはノーベル賞に2人の日本人が選ばれるなど明るいニュースも流れました。

今年は未(ひつじ、実は私の干支です)年です。「群羊を駆りて猛虎を攻む…一人の力は弱くても集すれば強力となる」と言われるように、皆様と共に力を合わせて内外の様々な問題に取り組んでいく所存です。

新年にあたり、皆様のご多幸を心よりお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



8月3日 アフガニスタン訪問。
仮設テントで授業中の小学校を視察



8月26日 ASEP Ⅱに日本議員団の団長として出席。議員団を代表してスピーチ中



10月23日 APEC 閣僚会議に出席
(メキシコ、ロス・カボス)



11月25日 総理特使として中東諸国を歴訪
シリアのバシヤール大統領と会談



11月13日 北関東自動車道の建設促進を
自民党三役に要請。写真中央は麻生政調会長、
左右がそれぞれ福田知事、茂木代議士



12月9日 来日中のアーミテージ米国務副長官と会談。外務省にて

2002年後半の主な出来事と茂木敏充の動き

※ _____ は茂木代議士関連

8月	3日-8日	アフガニスタン訪問	
	26日-28日	ASEP (第2回アジア欧州議員会議)に 日本議員団の団長として出席	
9月	1日-4日	小泉総理 環境・開発サミット出席(ヨハネスブルグ)	
	17日	総理訪朝(日朝首脳会談・共同声明)	
10月	2日	外務副大臣に就任	ヨハネスブルグ環境・開発サミット
	8・9日	ノーベル賞受賞決定 小柴昌俊氏(物理学)、田中耕一氏(化学)	
	18日	第155回臨時国会召集(会期は57日間)	
	23日-24日	APEC 閣僚会議に出席(メキシコのロス・カボス)	
	27日	衆参補欠選挙 投票日(与党5勝1敗)	
	29日-30日	日朝国交正常化交渉(クアラルンプール)	
11月	14日	日経平均株価、バブル後最安値。 大手銀行株に売り。終値は8303 円39 銭	「日朝平壤宣言」に署名する小泉総理と金正日総書記
	21日	高円宮殿下 薨去	
	25日-12月1日	小泉総理特使としてヨルダン、シリア、トルコを歴訪	
12月	6日	道路公団民営化推進委、最終報告書を提出	
	9日	アーミテージ米国務副長官が来日。 川口外相、茂木副大臣らと会談	
	13日	臨時国会会期末 与党3党が2003年度税制大綱をまとめる	
	24日	平成15年度予算案(81兆7891億円)閣議決定	APEC 閣僚会議にてパウエル米国務長官と

平成15年度の主な税制改正

●減 税

相続税・贈与税の一体化(1月)

- ◆65歳以上の親から20歳以上の子への生前贈与に2500万円の大型非課税枠創設。2005年末まで住宅取得資金の非課税枠は3500万円

中小企業税制(4月)

- ◆一定の中小企業(同族会社)の留保金課税を3年間停止
- ◆交際費課税を軽減。対象も資本金5000万円以下から1億円以下に拡大

研究開発・設備投資減税(1月)

- ◆研究費総額の8-10%(中小企業は12%)を法人税額から控除できる恒久制度。当初3年間は控除率を10-12%(中小企業は15%)に拡大

証券税制の簡素化(原則、1月)

- ◆株式譲渡益、配当、株式投資信託の収益分配金にかかる税率を20%に統一。当初5年程度は10%に軽減

●増 税

所得控除の縮小(1月)

- ◆主に専業主婦世帯対象の配偶者特別控除(最高38万円)の原則廃止

酒・たばこ増税(酒類は5月、たばこは7月)

- ◆発泡酒(350ミリリットル缶)、ワイン(720ミリリットル瓶)で各10円上げ
- ◆たばこ1本1円上げ、一般的なたばこ1箱250円が270円に

消費税の中小企業向け特例の縮小(4月)

- ◆免税点を3000万円から1000万円に下げ。簡易課税制度の適用対象も年間売上高2億円以下から5000万円以下の事業者者に縮小

外形標準課税の導入(4月)

- ◆課税対象は資本金1億円超の大企業に限定。全体の税収は変わらないが赤字企業も負担

2002年後半の後援会活動

2002年7月～12月

国政報告会

各小学校地区単位で年1回のペースで定期的に国政報告会を開催しています。

- 8月 9日 ● 足利東校地区国政報告会
- 9月 7日 ● 足利北郷地区国政報告会
- 9月 8日 ● 足利相生地区国政報告会
- 9月14日 ● 足利山辺・矢場川地区国政報告会
- 9月20日 ● 佐野天明地区国政報告会
- 9月21日 ● 栃木国府地区国政報告会

(10月以降の国政報告会については、各地区の副大臣就任祝賀会に集約させて頂きました。)



国会見学

代議士の職場である「国会」を直に見て頂く。また新たな職場である外務省副大臣室も見学して頂く。そんな趣旨から「国会見学」を企画しています。ご希望がございましたら、各地区後援会事務所までご連絡下さい!



国会議事堂をバックに記念写真

- 9月19日 ● 足利梁田地区後援会国会見学
- 11月19日 ● 足利大沼田町後援会国会見学
- 12月16日 ● 自民党足利支部研修会・国会見学

懇談会 各種イベント

より身近に「茂木敏充」本人と直接接してもらうため、町内単位、女性対象、団体・サークルなどで懇談会、ミニ懇談会を開いています。

- 7月28日 ● 佐野界地区高山町懇談会
- 8月10日 ● 足利山辺・矢場川地区後援会事務局との懇談会
- 8月18日 ● 栃木富士見町後援会役員会・懇談会
- 9月 7日 ● 足利御厨地区荒金町懇談会
- 9月13日 ● 佐野犬伏地区としみつ会BQ大会
- 9月14日 ● 葛生富士見町懇談会
- 9月15日 ● 足利鶴木町後援会設立総会
- 10月 4日 ● 栃木第1地区本部役員会・懇談会
- 10月 5日 ● 佐野としみつ会懇親会
- 10月13日 ● 足利御厨地区天王町懇談会
- 10月27日 ● 足利御厨地区八木町懇談会、中里町懇談会
- 11月 9日 ● 足利大橋地区役員会兼国政報告会
- 11月10日 ● 佐野植野地区若宮下町懇談会、界地区茂呂山・北茂呂町懇談会
- 11月10日 ● 足利御厨地区栄町懇談会
- 12月 7日 ● 足利山前地区若手有志との懇談会
- 12月 9日 ● 栃木しげる会親睦旅行会



外務省副大臣室見学

副大臣 就任祝賀会

地元3市2町全てで外務副大臣の就任祝賀会を開催して頂きました。各会場とも満員の盛会で、心よりの感謝の気持ちとともに、重い責任を改めて実感致しました。これからも皆様のご期待に応え、全力で頑張ります。

- 11月17日 足利市 (足利プリオパレス 2F 大ホール)
- 11月23日 栃木市 (ホテル鯉保 2F ダイヤモンドホール)
- 11月24日 田沼町 (道の駅どまんなかたぬま どまんなかホール)
- 12月 1日 佐野市 (サンルート佐野 2F 平安の間)
- 12月 8日 葛生町 (若葉 ホール)

PROFILE 茂木敏充プロフィール



■現職
・外務副大臣
・自由民主党栃木県連会長代行

■略歴
・1955年10月 7日 栃木県足利市生まれ(47歳)
足利高校、東京大学卒業、米国ハーバード大学大学院修了(政治学・政策科学専攻)
・1993年 7月 第40回衆議院選挙に初立候補し、旧栃木2区でトップ当選を果たす。
・1996年10月 第41回衆議院選挙で小選挙区栃木5区にて2期目の連続当選。

・1998年 8月 自由民主党副幹事長に就任。
・1999年10月 通商産業政務次官に就任。
・2000年 6月 第42回衆議院選挙で、108,837票の圧倒的支持で連続当選(現在3期)。
・2000年12月 平成研究会(橋本派)事務局長。
・2001年 5月 自民党栃木県連会長代行に就任。
・2002年 2月 自民党「外務省改革に関する小委員会」委員長。
・2002年10月 第2次小泉内閣にて外務副大臣に就任。

■国会事務所
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館639号室
TEL 03 (3508) 7639 (直通)
FAX 03 (3508) 3269

■足利事務所
〒326-0053 足利市伊勢町4丁目14-6
TEL 0284 (43) 3050
FAX 0284 (43) 3060



■安佐事務所
〒327-0843 佐野市堀米町608-8
オフィス堀米2階E室
TEL 0283 (21) 5350
FAX 0283 (21) 8826

■栃木事務所
〒326-0071 栃木市大町22-7 MT ビル1階
TEL 0282 (24) 4776
FAX 0282 (24) 9615